

叡啓大学 2022 年度入学者選抜(春入学)(一般選抜)

小論文

(問)

食品ロス・廃棄削減の重要性についての意識を高める記念日として、毎年 9 月 29 日を「International Day of Awareness of Food Loss and Waste」と定めることが、2019 年 12 月に開催された国際連合総会で決議されました¹。その目的は、あらゆるレベルで、食料廃棄の問題の重要性と、その解決策に対する認識を高め、SDGs の 12「つくる責任つかう責任」のうちのターゲット 12.3「2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる」ための、世界的な取組と行動を促進することであるとされています。日本においても、2000 年度比で 2030 年度までに食品ロス量を半減させるという目標を設定していますが²、国内の食品ロス量は、ほぼ横ばいが続いています³。

あなたは、2030 年度までに日本国内の食品ロス量を半減させるためには、どのような解決策が有効だと考えますか。あなたの考える解決策について、具体的な根拠や取組事例を挙げながら論じてください。また、その解決策を実施するにあたり、どのような課題があるかと考えるかについても説明してください。

なお、以下の参考資料や、関連する資料(辞書、統計、書籍、論文、記事、政府や国際機関等の報告書やウェブサイトなど)を調べて解答することを推奨します。

(参考資料)※最終アクセス日は全て 2021 年 11 月 25 日

- ・ 環境省「食品ロスポータルサイト」
<http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>
- ・ (社)国際農林業協働協会「世界の食品ロスと食品廃棄 その規模、原因および防止策」
<https://www.fao.org/3/i2697o/i2697o.pdf>
- ・ (一社)産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター「世界の食料ロス」
<http://www.cjc.or.jp/school/d/d-2-6.html>
- ・ 国際連合世界食糧計画(WFP)「飢餓と食品ロスに関する、5 つの事実」
<https://ja.wfp.org/stories/jietoshipinrosuniguansuru5tsunoshishi>
- ・ FAO “The State of Food and Agriculture”
<https://www.fao.org/publications/sofa/en/>

1 国際連合食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所「9月 29 日食料ロス・廃棄啓発のための国際デー(International Day of Awareness of Food Loss and Waste Reduction)」

<https://www.fao.org/japan/portal-sites/international-days/0929/es/>

2 家庭系食品ロスについては「第四次循環型社会形成推進基本計画」(平成 30 年6月閣議決定)、事業系食品ロスについては「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」(令和元年7月公表)において設定

3 環境省「我が国の食品ロス量の推移」

<http://www.env.go.jp/press/files/jp/116169.pdf>

(注意事項)

- ・ 小論文は、本学様式を使用し、A4 サイズ1ページ以内で作成してください。なお、本学様式には A4 サイズ1ページあたり 1800 字程度記載することができます。
- ・ この問題で使用された情報は、参考資料をもとに、叡啓大学が試験問題としてまとめたものであり、この小論文のテーマに関して、叡啓大学および所属する教職員の見解を記載したものではありません。

(評価基準)

本学は、次の基準で小論文を評価します。

一般的に論文作成に求められる基本的要件

- ・ 指定の分量、指定様式を守っているか？
- ・ 課題の質問に答えているか？
- ・ 読みやすい文章で書かれているか？（主述など適切な文法、誤字脱字がない文章）

内容に関する基準

■ 幅広い視野

- ・ 適切なデータや資料を用いて、自らの議論をサポートしているか？

■ 基礎的な学力

- ・ 事実と意見を区別したうえで、自分の意見とその根拠を説得的・効果的に表現できているか？
- ・ 解決策とその課題を具体的に示し、それらを論理的に説明しているか？

■ その他

- ・ 独創性と創造力

※次の項目に関する内容は、加点要素とします。

- ・ 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係への強い関心と探究心
- ・ 学ぶ意欲、将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組もうとする姿勢
- ・ 自らの能力の向上を目指す意欲
- ・ 社会貢献意欲
- ・ 他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢
- ・ 自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢